

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所ぶりんぐ				公表日	2025年3月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		スケジュールを個別に組むことで極力同じ部屋に2人以上入らないようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		個別療育のため、マンツーマンで配置できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		身支度の場所、おもちゃを片づける場所を色分けや写真等で視覚的に示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		定期的に掃除と気がなったときに随時掃除をしている。	頻度が適切か検討の余地はある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		クールダウン専用のスペースはないが、そのとき未使用の部屋を使うことができる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員間で意見を出し合いながら、個別支援計画、課題の共有、引継ぎなどで業務改善が図られた実績がある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		過去の実績ですと、保護者向け評価表からの意見で保護者向け学習会や便りの実施、ご意見箱の設置などがあります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日ごろから話し合いが行われている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		必要があれば検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		ぶりんぐ内では職員向けの毎年回数学習会があります。また、地域生活支援会議など市が主催する会議への参加があります。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		5領域に沿った支援プログラムをHP上で公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談を通してニーズの確認・見直しをしています。また日々の療育での様子からも計画の見直しを行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者と担当スタッフとで話し合っって計画の立案を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画に沿った支援を基本としながら、適宜必要な課題を取り入れています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて鈴木ビネー知能検査やWISC-IVを活用しています。また、日々の行動観察から得られた情報も共有しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		本人支援・家族支援については十分考えており、臨機応変な対応をしています。移行支援・地域支援は広い意味での解釈となっており厳密な“移行”ではなく“連携”の意味合いが強いです。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		個別療育のため基本的には担当のスタッフに任されていますが、グループ活動や季節行事などはチームで立案しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じ系統の課題でもスモールステップの考え 方から少しずつ難しくしたり、バリエーシ ョンをもたせるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育のため集団活動はほとんどしていま せんが、遊びの時間にやりとりが発生するよ うな機会を設定することはあります。	小学生以上はグループ活動を取り入れていま すので、未就学児も可能ならば取り入れたい です。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○		スケジュールの調整に関する打ち合わせは必 ず行っています。その他特別な事情などがあ る際にも事前に共有を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必ずではありませんが、次回以降に繋げる気 づきなどがあった場合には共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	○		毎回記録をとっており、課題の達成状況から 次回以降の課題の設定を調整しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回を目安として見直しをしていま す。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	○		自立支援と日常生活の充実のための活動、余 暇の提供を主として支援しています。	創作活動については季節的な行事として小規模で 行うことを進めていきたい。地域交流の機会の提 供については考えていません。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援計画を立てる際、本人の願いを聞くように しています。また、課題や遊びの内容・順番など 必要に応じて交渉できるように支援しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当スタッフが参加できるときは少ないです が、事前に情報共有したうえで児童発達支援 管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要があれば電話やケア会議への参加で情報 共有を図っています。	主として受け身の姿勢であるため、積極的に 情報共有をしていきたいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を通 切に行っているか。	○		送迎がないため密な連絡は行っていません。 年度ごとに1～2回程度情報共有のためのやり とりをすることがあります。	学校との情報共有ができていないお子さんが いるため、全員にできるようにしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援から継続して放デイを利用する 場合には行っています。	放デイから利用が決まったお子さんにはでき ていません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	○		事業所の対象児童の関係で該当する子がいま せん。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今のところ機会はありませんが機会があれば 受けたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	○		個別療育のため地域との交流は考えていま せん。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			参加することもあるが頻度が少ないため、参 加率をあげたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課 題について共通理解を持っているか。	○		毎回保護者との面談を行っており、担当者か らも課題の報告をしています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	○		面談を通して具体的な関わり方や方策、小学 校等の情報提供を行っております。	参加型の研修会を開催していたこともあった ため、今後可能ならば再開させたいと思っ ています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	○		契約時に説明しています。必要があればいつ でも説明することができますので、遠慮なく お問い合わせください。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画の更新時には必ず保護者の意向を確 認しています。可能ならば本人にも問うこと があります。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時に読んでもらい、同意を得ています。	こちらからの説明が不足している部分はある かもしれません。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回保護者との面談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		以前は有志の方による父母の会があり、後援していました。もしも中心になって父母の会を立ち上げたいという方がいれば今後も後援は惜しみません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		可能な限りは次回の療育で改善できるように担当者と打ち合わせています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年に数回程度ではありますが、HPにてぶりんどよりを発行・掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる書類は特に気を付けて管理しており、処分する際も一般ごみとは区別しています。	個人を特定できるような話題に関しても気を付けてはいますが不十分な点がある可能性もありますのでご指摘お願いします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		本人の意思を尊重します。必要に応じて言葉以外の手段（絵カード、ジェスチャーなど）でも表現してもらっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個別療育のため全体参加による行事がありません。またそのようなニーズも今のところありません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアル自体の策定はあっても、周知徹底には至っていないため、HP上での公開などの手段を検討中です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			同上
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		該当児童の利用がある場合は利用開始前に医療機関等との情報共有をする場合があります。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		基本的には事業所内で何かを食べることがないため必要ないですが、PECS等で必要になる場合はしっかり情報共有します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画については未作成であったため、迅速に作成し、周知・実施含めて改善を図ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		同上
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	日々の支援の中で職員間で話し合われて改善していくことは多々ありますが、事例集などを使っての共有はできていません。	過去に学習会で扱ったことはあるが継続的な取り組みができていないとせず、書面に残すことの難しさがある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年代表者が研修を受け、職員に共有しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		上記の共有時に共通理解を図っています。支援計画にも記載しています。		